

スカパーJSATグループ
2012年度 通期決算説明会

2013年5月9日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティに関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

本日の説明内容

- 2012年度連結決算概要
- 2013年度連結業績予想
- 今後の取り組み
- 2015年度中期経営計画達成に向けて

2012年度連結決算概要

損益概要： 前年度対比

- 営業収益は、プレミアムサービス視聴料収入の増加等により増収。
- 営業利益は、主に震災後の衛星需要の平常化等に起因し減益。

連結(単位:百万円)

	FY2011	FY2012	増減率
営業収益	155,242	159,609	+2.8%
営業利益	17,486	16,153	▲7.6%
経常利益	16,702	15,698	▲6.0%
当期純利益	8,569	9,682	+13.0%
EBITDA*	42,005	42,448	+1.1%

* EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (支払利息) + (減価償却費)

損益概要： 計画対比／セグメント別

- 有料多チャンネル事業は、新規加入計画の未達で営業収益は計画を下回ったが、諸費用の抑制等を図り、ほぼ計画どおり▲8億円を維持。
- 宇宙・衛星事業は、計画達成。

連結(単位:百万円)

	FY2012 業績予想	FY2012 実績
営業収益	164,000	159,609
有料多チャンネル事業	119,600	114,415
宇宙・衛星事業	56,300	56,645
消去又は全社	▲11,900	▲11,452
営業利益	16,000	16,153
有料多チャンネル事業	▲800	▲819
宇宙・衛星事業	17,500	17,598
消去又は全社	▲700	▲626

有料多チャンネル事業の主要指標

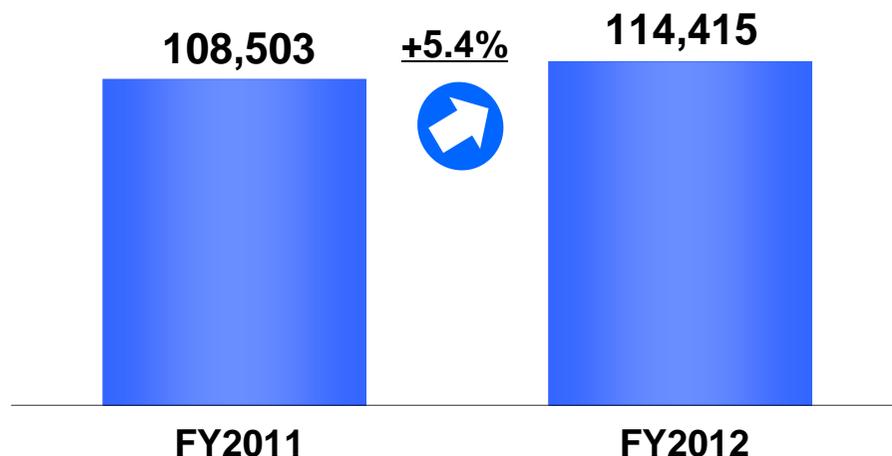
(単位: 件数は万件)	FY2011	FY2012	FY2012通期目標
新規加入件数	67.8	62.2	68.3
再加入件数	8.6	10.4	—
解約件数	67.4	71.1	—
純増数	8.9	1.5	10.6
累計加入件数	381.4	382.9	392.0
加入者支払単価(円)	3,226	3,200	—
ARPU(月額、円)	1,652	1,784	—
SAC単価(円)	30,223	29,931	—
ハイビジョン化率*	32.5%	58.5%	54.7%
年次解約率	17.9%	18.6%	17.1%

* プレミアムサービスの加入件数の内、標準画質専用チューナーの加入件数を除いた比率。

営業収益： セグメント別の前年度増減要因

有料多チャンネル事業

(単位：百万円)



■ 前年度比 **+59億円(+5.4%)***

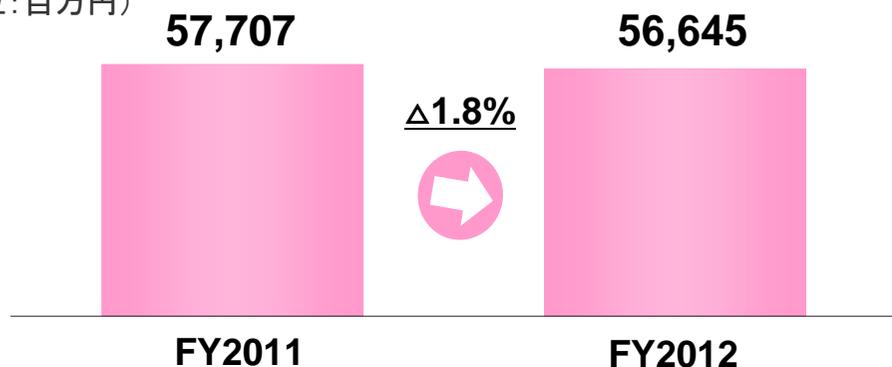
<主な増減要因>

- 視聴料収入等の増加：+82億円
- 業務手数料収入等の減少：▲22億円
 - スカパー！（旧e2サービス）手数料収入等：27億円
 - 標準画質サービスに係わる手数料収入：▲49億円

* セグメント間内部取引を含む。

宇宙・衛星事業

(単位：百万円)



■ 前年度比 **▲10億円(▲1.8%)***

<主な増減要因>

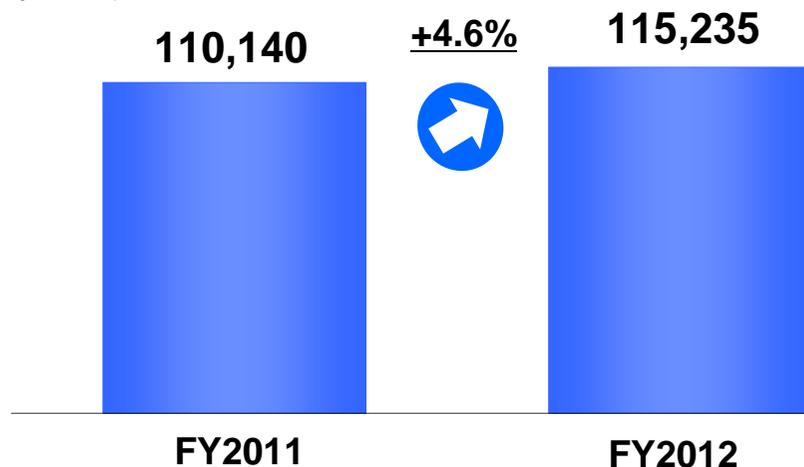
- 震災関連等の衛星事業収入の減少：▲28億円
- 放送トラポン収入の減少：▲7億円
- その他(新規BCP、グローバル案件等)：+25億円

* セグメント間内部取引を含む。

営業費用：セグメント別の前年度増減要因

有料多チャンネル事業

(単位:百万円)



■ 前年度比 +51億円(+4.6%)*

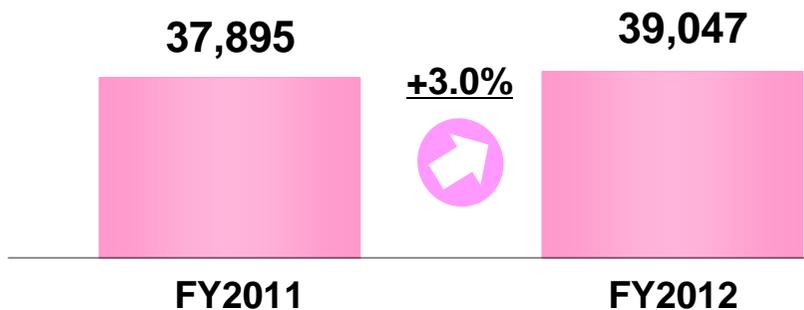
<主な増減要因>

- 番組供給料の増加: +37億円
- ハイビジョン移行施策費用の増加: +22億円
- BS関連費用の増加: +8億円
- SAC関連費用等: ▲15億円
- その他: ▲1億円

* セグメント間内部取引を含む。

宇宙・衛星事業

(単位:百万円)



■ 前年度比 +11億円(+3.0%)*

<主な増減要因>

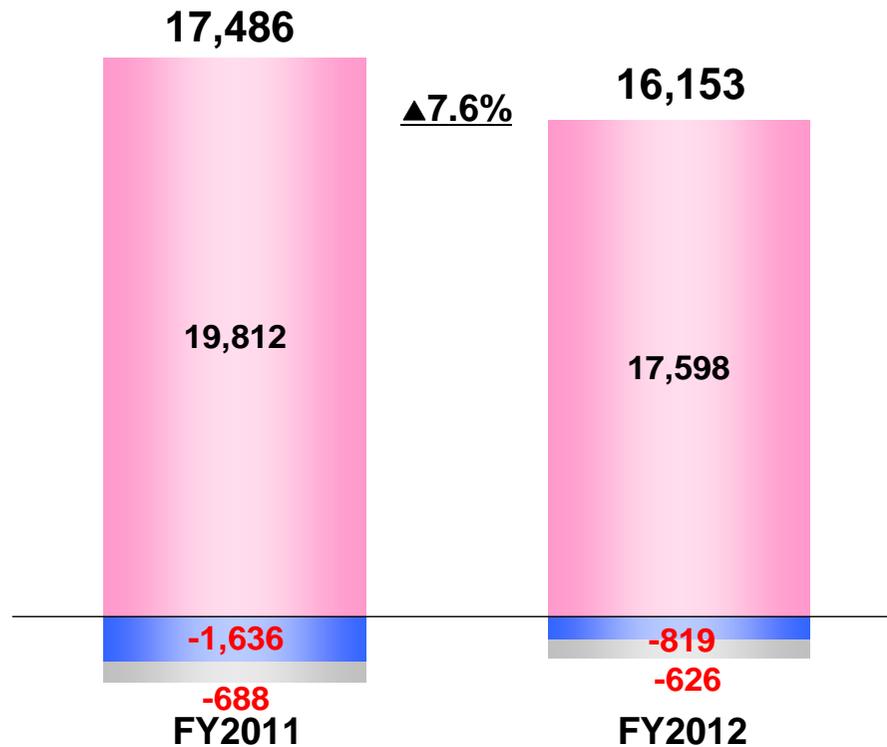
- 減価償却費の増加: +9億円
- その他: +2億円

* セグメント間内部取引を含む。

利益指標：前年度対比

営業利益

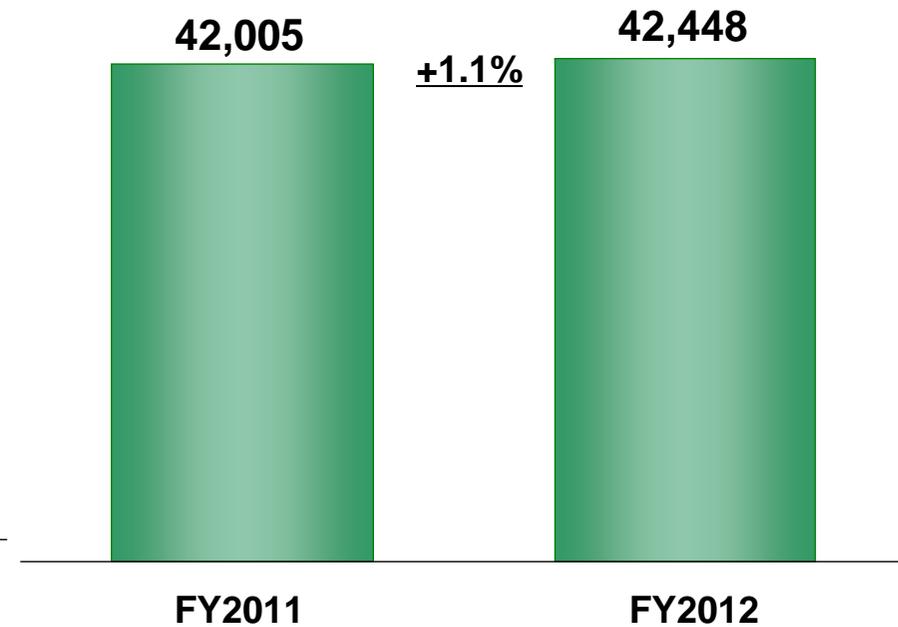
(単位:百万円)



- 有料多チャンネル事業
- 宇宙・衛星事業
- 消去又は全社

EBITDA*

(単位:百万円)



* EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (支払利息) + (減価償却費)

2013年度連結業績予想

2013年度事業方針

有料多チャンネル事業 ココロ動く、未来へ。 スカパー!

- コンテンツ差別化とお客様コミュニケーション強化による純増計画達成
- コスト構造改革による事業黒字化達成
- プレミアムサービス、H.264移行の実質的完了と加入規模維持
- 4K放送、アジア展開、オンデマンド等による事業領域拡大

宇宙・衛星事業

- 大規模災害対策及びBCP向け営業活動の強化
- 官公庁向けビジネスの着実な受注とXバンド衛星PFI事業の推進
- 船舶、航空機向け衛星移動体通信ビジネスの受注の拡大
- 海外衛星ビジネスの販売の拡大と新規市場の開拓

2013年度加入目標

- 新規加入目標は、2012年度を上回る**64万件**に設定。
- SD終了に伴う解約増加も想定しつつ、**3.6万件の純増**を目指す。

(単位: 万件)

	FY2012	FY2013 目標
新規加入件数(合計)	62.2	64.0
スカパー!	54.6	55.0
スカパー! プレミアムサービス	6.1	7.5
スカパー! プレミアムサービス光	1.5	1.5
年次解約率(%)	18.6%	18.8%
純増数	1.5	3.6
累計加入件数	382.9	386.5

2013年度連結業績予想

■ 2012年度実績に対して、「増収増益」の計画。

(単位:億円)

	FY2012	FY2013(計画)
営業収益	1,596	1,640
営業利益	161	170
経常利益	156	165
当期純利益	96	100
1単元株*当たり配当予想(円)	1,200	1,200

* 当社は2013年5月8日付取締役会において株式分割及び単元株制度の採用について決議いたしました。
詳細は同日付の報道発表資料をご参照下さい。

セグメント別業績予想

(単位:億円)

	FY2013(計画)			連結合計
	有料多チャンネル事業	宇宙・衛星事業	消去又は全社	
営業収益	1,200	568	▲128	1,640
営業費用	1,209 _(注)	382 _(注)	▲121	1,470
営業利益	▲9	186	▲7	170

(注)両事業セグメントとも、新規事業への取り組みに係る費用予算を含む。

今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

プレミアムサービス H.264への移行

■ 移行は順調に推移、2014年3月末時点でH.264化をほぼ完了

2013年3月末加入件数

MPEG-2累計 : 73万件

H.264累計 : 103万件

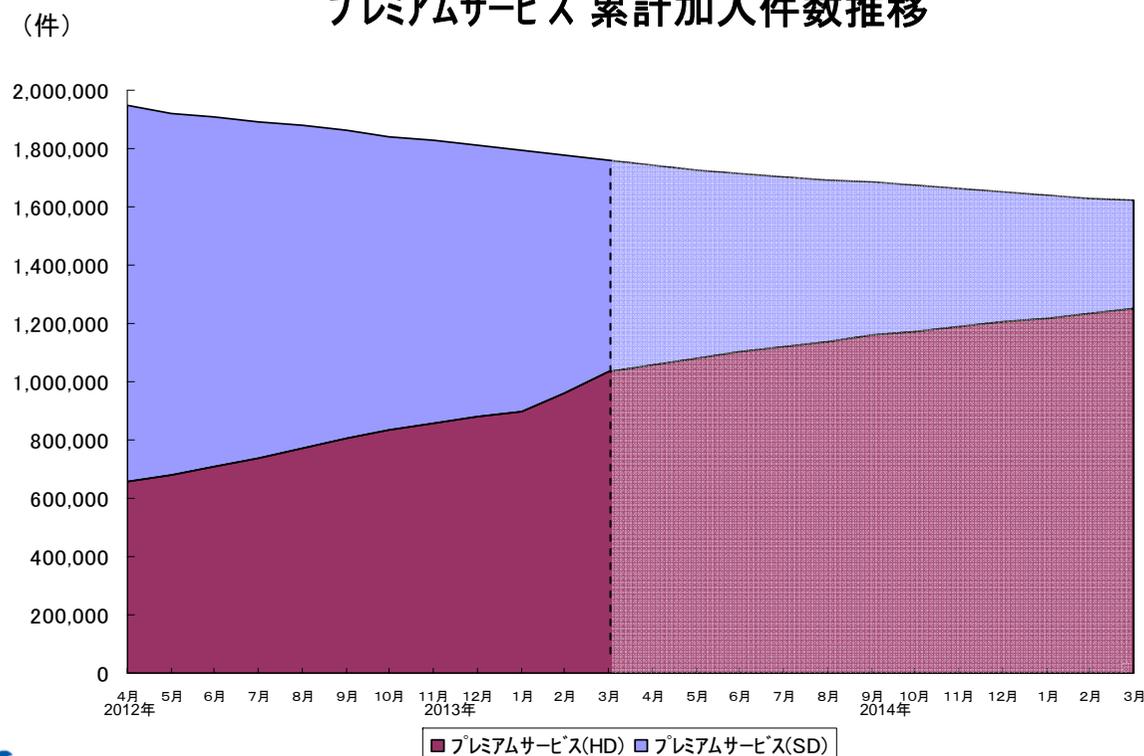


2014年3月末加入件数

MPEG-2累計 : 37万件(基本料のみ顧客を含む)

H.264累計 : 125万件

プレミアムサービス 累計加入件数推移



【FY2012 HD移行件数実績】

1Q/FY2012	65,319
2Q/FY2012	97,410
3Q/FY2012	79,870
4Q/FY2012	162,118

【FY2013 HD移行件数見込】

1Q/FY2013	72,000
2Q/FY2013	62,000
3Q/FY2013	56,000
4Q/FY2013	56,000

ビデオ・オン・デマンド(VOD)サービスの充実



どこでもスカパー!を見られる利便性を提供



■スカパー!JリーグLIVE

J1/J2 リーグ戦 全試合LIVE配信。

Jリーグ対象商品契約者無料。

VODのみ契約も可能。

加入者への利便性だけでなく、新規需要も発掘。

2013年3月末現在

登録会員数

12.6万件

LIVE配信、新規チャンネル・コンテンツ、続々登場!

■J SPORTS LIVE+オンデマンド

FIA 世界耐久選手権2013 / 2013 SUPER GT / 2013 SUPERフォーミュラ Cycle * 2013 第100回ツール・ド・フランス 6/29(土)いよいよ開幕!

■フジテレビONE

SWALLOWS BASEBALL LIVE 2013
LIVE配信スタート

■GAORA FIA WTCC世界ツーリングカー選手権2013



その他、今後の展開

アジア諸国に向けた、日本チャンネル立ち上げ

- インドネシア最大のDTHサービス・インドビジョンにて、トライアル放送実施中
- LIPPOグループ(インドネシア)、ミャンマー等のDTH事業者とも交渉を実施
⇒ 2014年度の本放送開始の実現を目指す

4K放送の実現に向けて ~日本の取り組みとして、戦略とビジネス化~

- Jリーグ4K映像制作および、衛星を使用したライブ伝送実験

2012年10月20日 ベガルタ仙台 VS 浦和レッズ戦の中継映像をいち早く4Kで制作、JCSAT-5A衛星を使用してライブ伝送を行い、関係者向け試写イベントを実施

2013年3月9日 FC東京 VS 柏レイソル戦ではカメラ台数を増やし、スロー映像やテロップ挿入等により、より実際の放送に近い伝送実験を実施



3月9日 FC東京 VS 柏レイソル戦

- B-CASカードについての不正改造や改ざん事案の発生
- 摘発状況
- 民事訴訟の提起

今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

国内市場への取り組み

■ BCP向けの取り組み

- ・ ライフライン関連での利用が増加

■ 運輸事業関連

鉄道会社での地震早期検知システム及びBCPでの利用

■ 原子力防災関連

地方自治体のモニタリングポストからのデータ収集への利用



防災プラットフォームサービス
EsBird
エスバード

衛星IPネットワークサービス
ExBird
エクスバード



■ 地上システムでの取り組み

- ・ 衛星を利用しない配信システムへの取り組みも拡大

■ 全国規模の予備校での利用

(高宮学園殿)
授業のライブ映像及びアーカイブ映像を全国の拠点へ配信

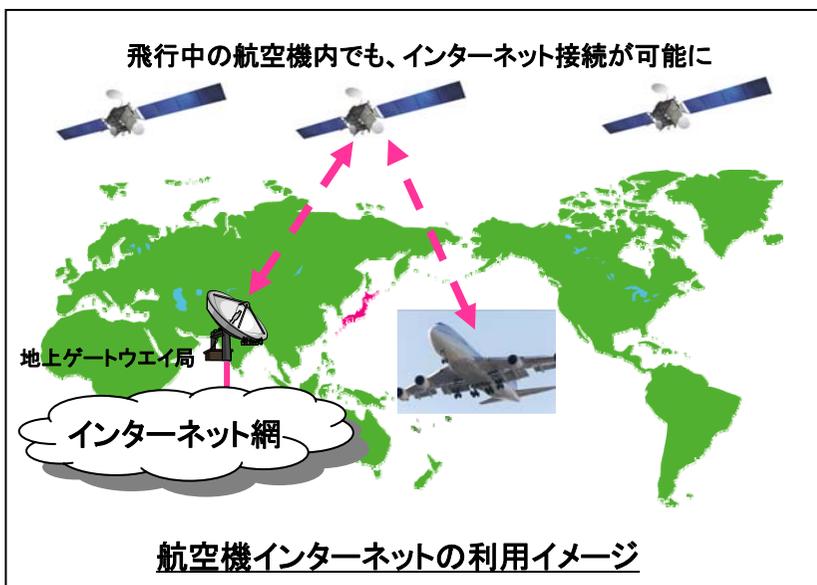
■ 公営競技での利用

(日本レジャーチャンネル殿)
ボートレースのライブ映像等をボートレース場・ボートピア等へ配信

グローバル市場への取り組み

■ グローバル市場の拡大

- ・インドネシアでの携帯キャリア向け受注の拡大
- ・北米での政府向け大型契約の更新
- ・アジアゾーンでの航空機インターネット用衛星回線の受注の拡大



■ アジアでの新軌道位置の確保

- ・アジア向けビジネスの強化を目指し、新軌道位置を確保するため、既存衛星の移動を実施。



① JCSAT-4A:
東経124度から
東経82度に移動



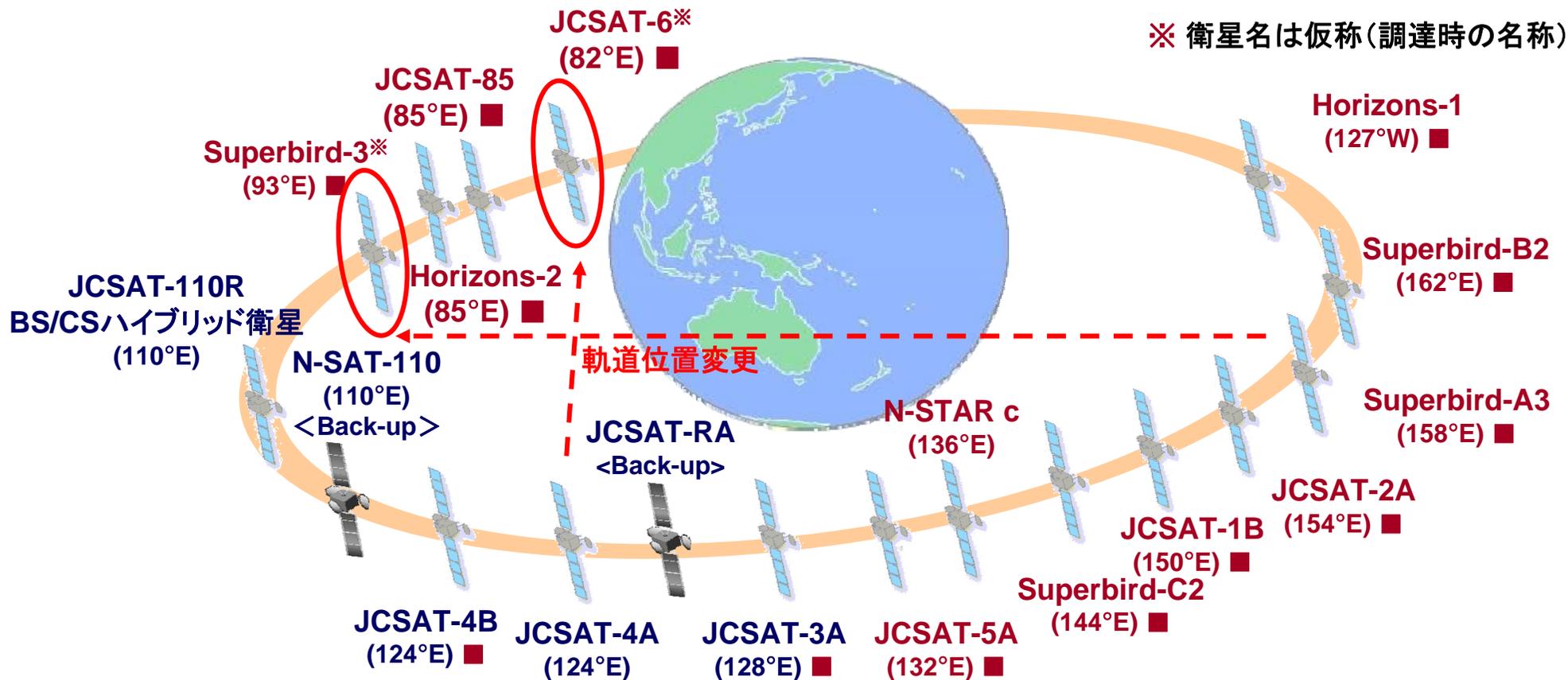
② Superbird-A3:
東経158度から
東経93度に移動

衛星フリート図

北米上空からインド洋上空まで計16機の衛星を保有

■ グローバルビーム搭載衛星(含む可動ビーム)

※ 衛星名は仮称(調達時の名称)



主に放送サービスに利用

主に通信サービスに利用

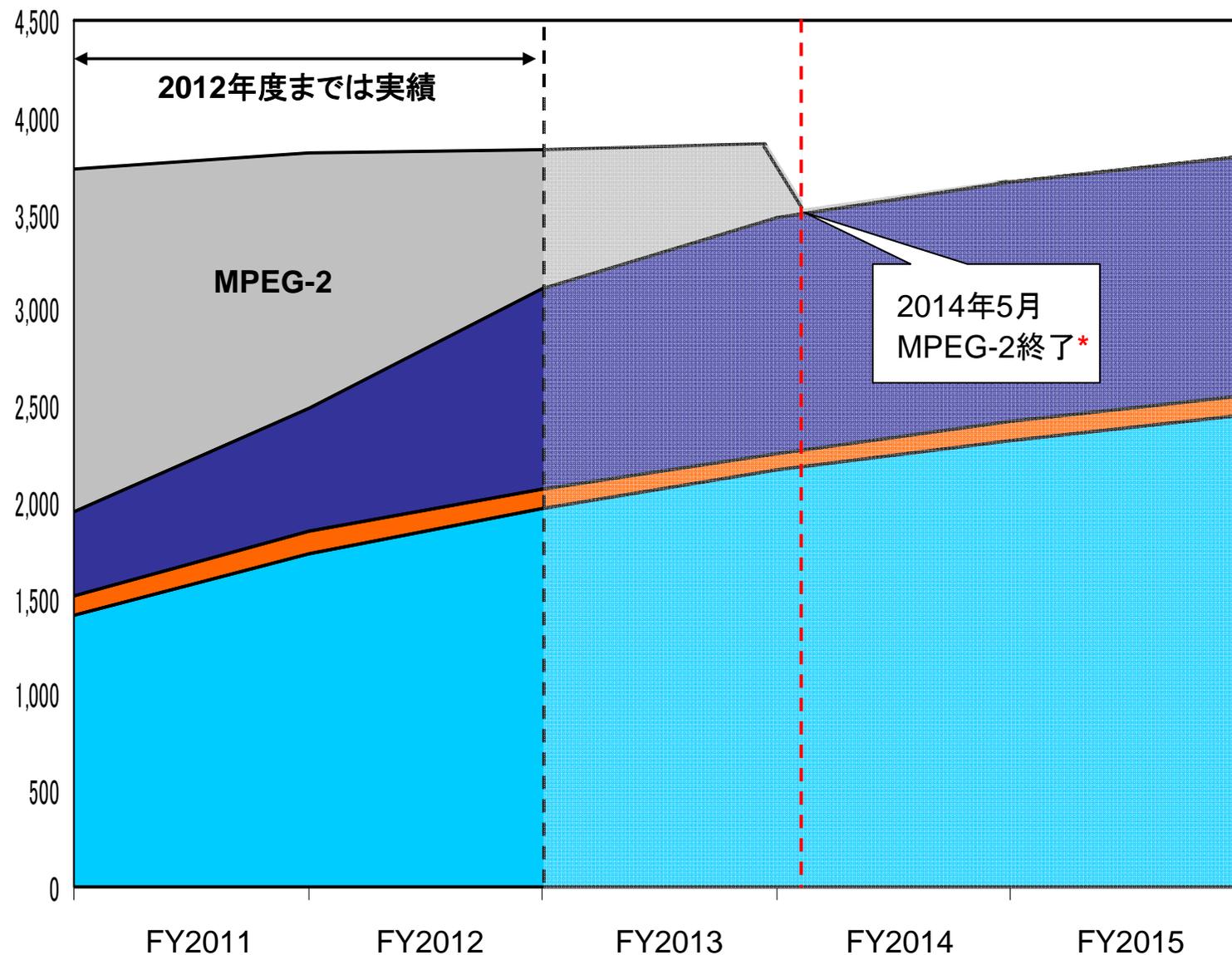
中期経営計画達成に向けて

2015年度中計目標達成に向けて

2015年度中計目標	目標達成のための主要要素
<p>営業収益</p> <p>2,000 億円以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 次期Xバンド事業に係る収益増加 • HD(H.264)加入者移行加速による視聴料収入の増加 • グローバル展開を含む事業領域拡大
<p>営業利益</p> <p>200 億円以上</p>	<ul style="list-style-type: none"> • SACの低減及びカスタマーセンターの構造改革 • HD移行完了による移行費用の剥落 • SD(MPEG-2)終了に伴う運用費用削減 ⇒連結で200~250億円レベルを目指す
<p>累計加入件数</p> <p>400 万件超</p>	<ul style="list-style-type: none"> • スカパー！の新規加入件数は順調に拡大 • プレミアムサービスのSD(MPEG-2)終了に伴う解約者が一時的に増大(2014年度) ⇒2015年度末400万件は未達(約380万件) • スカパー！オンデマンドアクティブユーザー数:30万件

中期加入計画の見通し

(単位:千件)



スカパー!
プレミアムサービス

*ラジオ放送等は継続

スカパー!
プレミアムサービス光

スカパー!

2015年度
スカパー! オープンロード
会員数目標

登録会員数	80万件
アクティブ ユーザー数	30万件

(参考資料)

連結貸借対照表

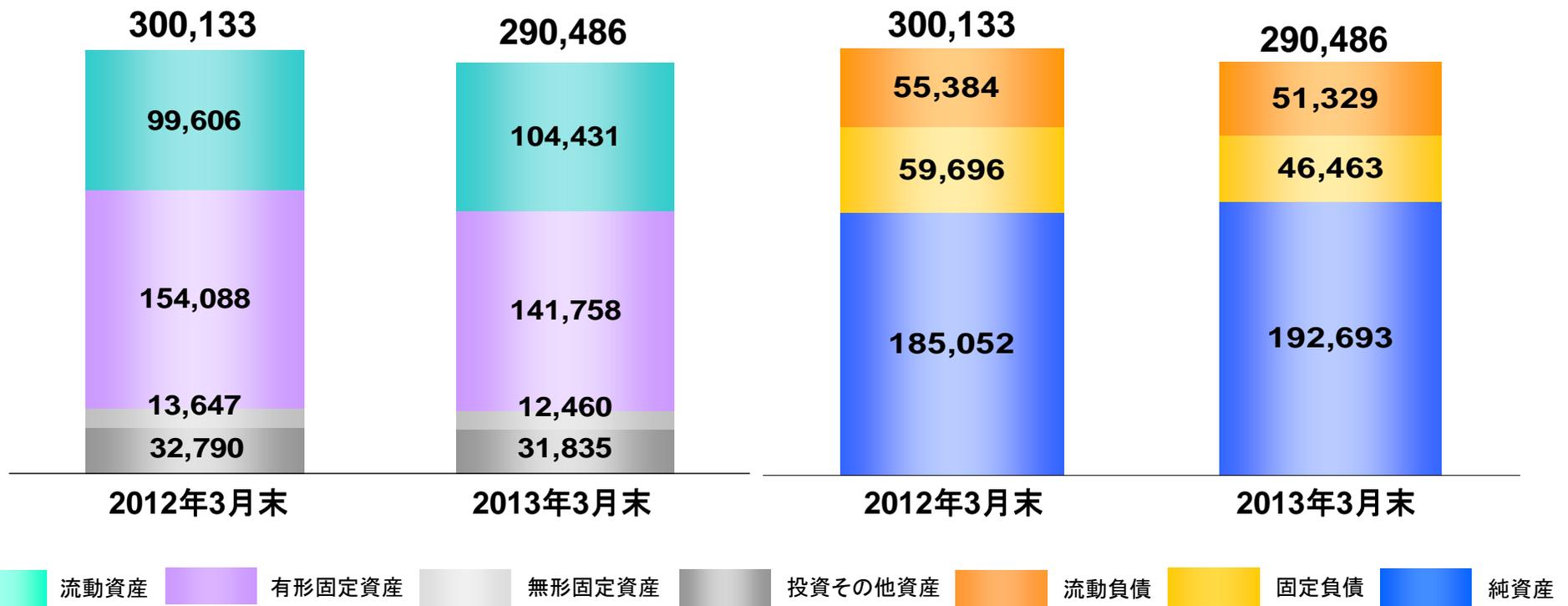
資産

負債・純資産

(単位:百万円)

(単位:百万円)

自己資本比率:66.2%



連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	FY2011	FY2012
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,976	38,372
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,995	▲11,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲34,993	▲19,401
現金及び現金同等物の期末残高(a)	66,404	74,472
有利子負債期末残高*1 (b)	62,506	49,398
純有利子負債期末残高 (b)－(a)	▲3,898	▲25,074
設備・事業投資等*2	14,444	11,216
フリー・キャッシュフロー*3	25,532	27,155

*1 借入金＋無担保社債

*2 投資活動によるキャッシュフローから短期運用目的の有価証券の取得・売却・償還等の増減を除いて算出。

*3 (営業活動によるキャッシュフロー)－(設備・事業投資等)

主要子会社の業績概要

(単位:百万円)

		SJC	SPCC	SPBC	OPTI	SNET	JII	JMC
事業内容		放送プラットフォーム、衛星通信	顧客管理	放送事業	光ファイバを利用した映像配信	衛星通信回線再販等	衛星通信回線販売	衛星移動通信サービス
保有割合(%)		100	100	100	100	92	100	53.3
営業収益	FY2011	124,930	16,393	33,372	10,797	7,162	2,032	774
	FY2012	124,135	9,707	43,605	11,310	6,284	1,829	1,690
営業利益	FY2011	15,886	250	370	1,203	572	837	▲23
	FY2012	15,037	▲250	439	1,106	604	702	234
経常利益	FY2011	15,982	267	375	1,140	506	838	▲22
	FY2012	15,974	▲234	443	1,067	557	708	241

SJC:スカパーJSAT株式会社

SPBC:株式会社スカパー・ブロードキャスティング

SNET:株式会社衛星ネットワーク

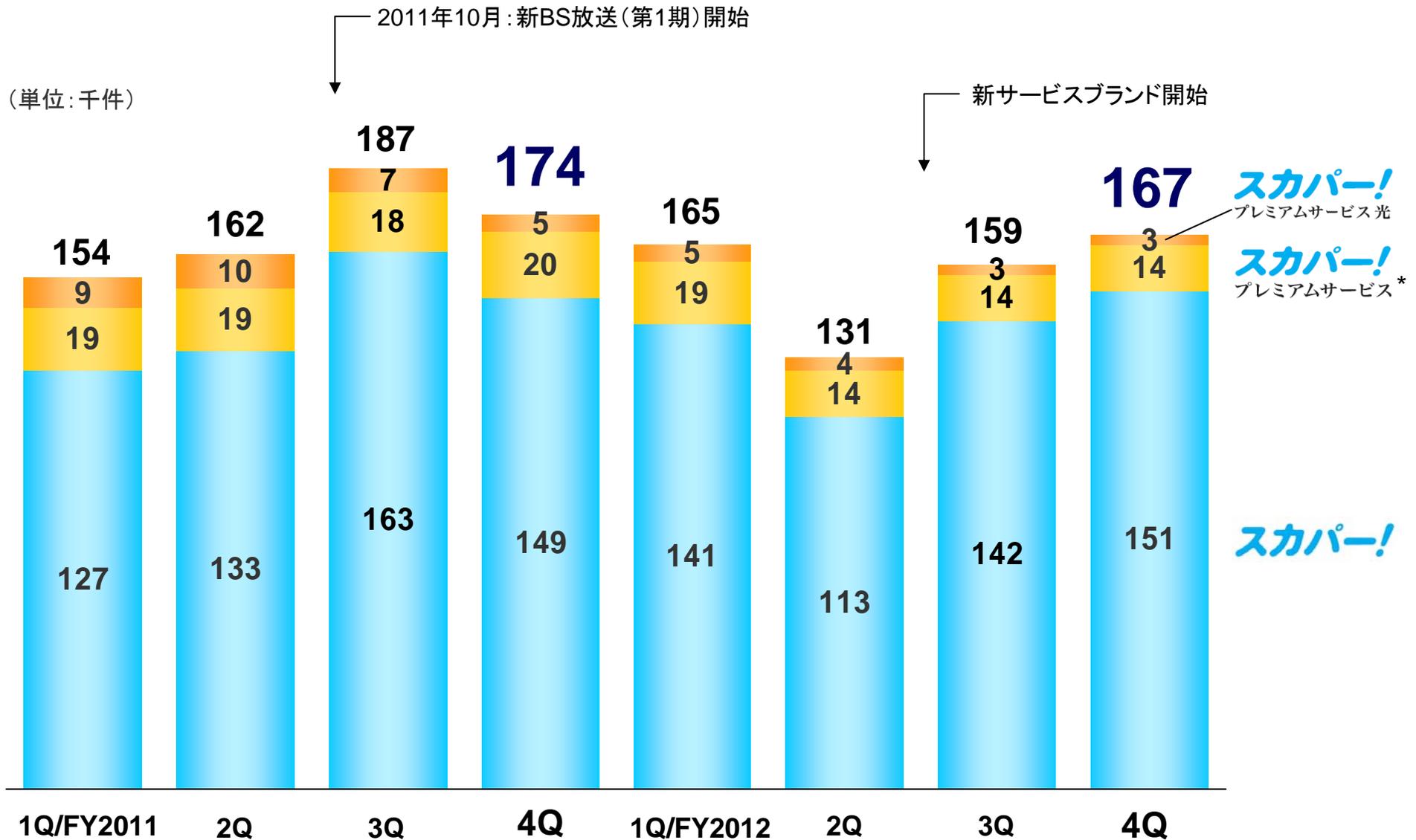
JMC:JSAT MOBILE COMMUNICATIONS株式会社

SPCC:株式会社スカパー・カスタマーリレーションズ

OPTI:株式会社オプティキャスト

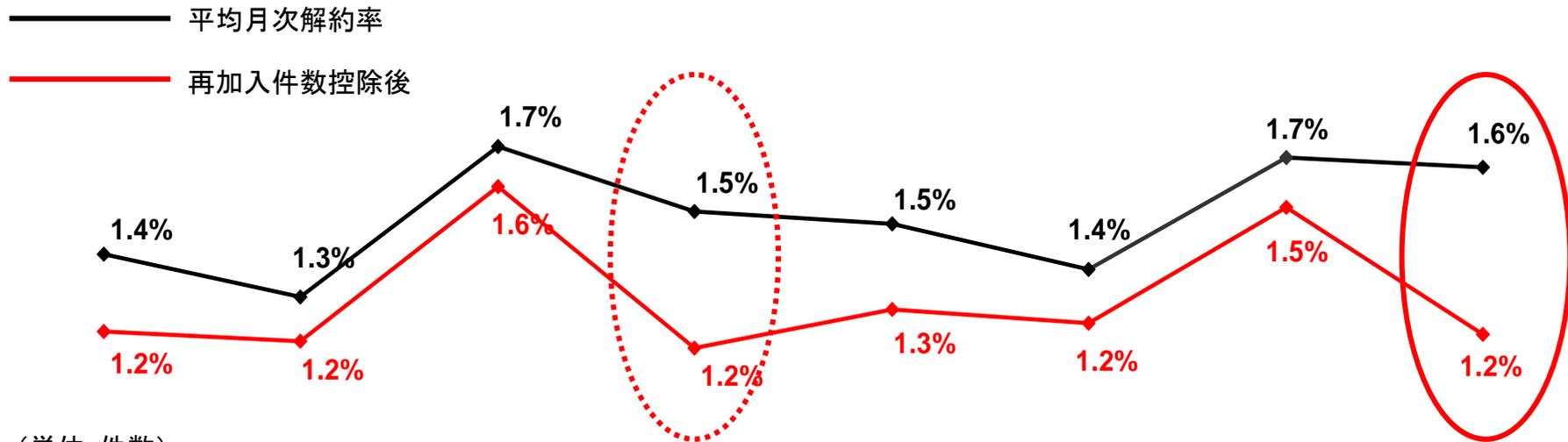
JII:JSAT International Inc.

新規加入件数の推移

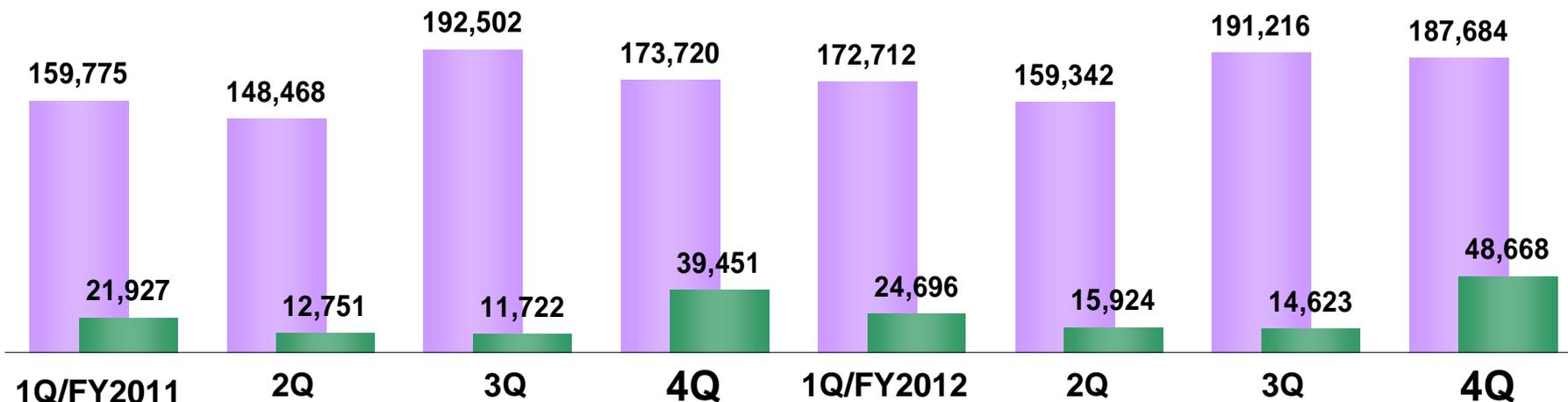


* プレミアムサービスには、標準画質専用チューナーの加入者も含まれる。

解約率の推移(四半期別月次平均)



(単位: 件数)

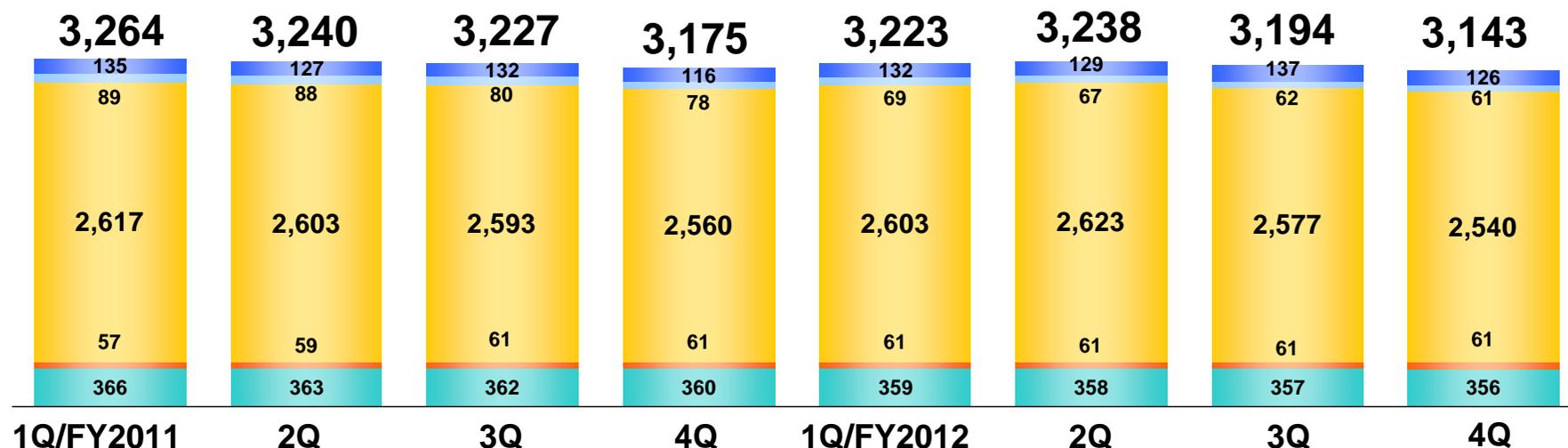


解約件数
 再加入件数

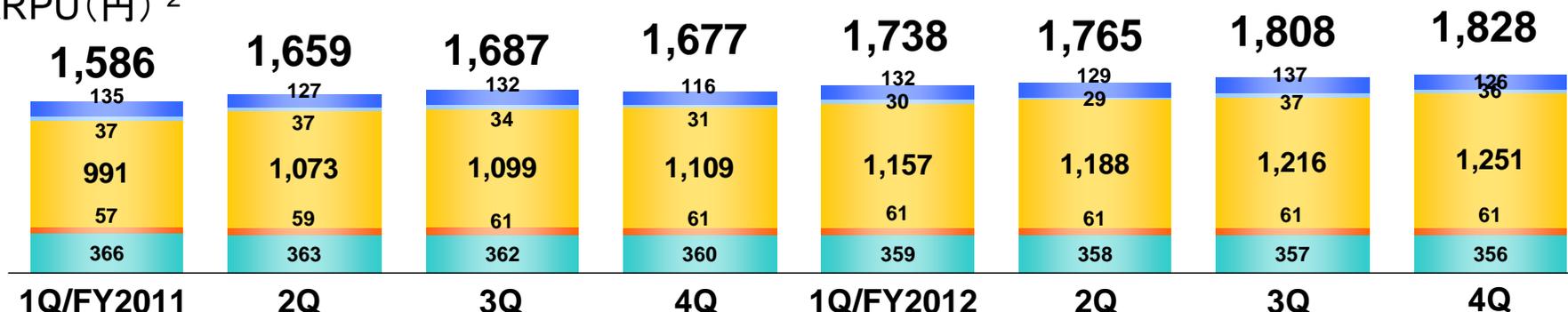
注: 解約率、件数はすべてスカパー！合計。

ARPU

■ 加入者支払単価(円)*1



■ ARPU(円)*2

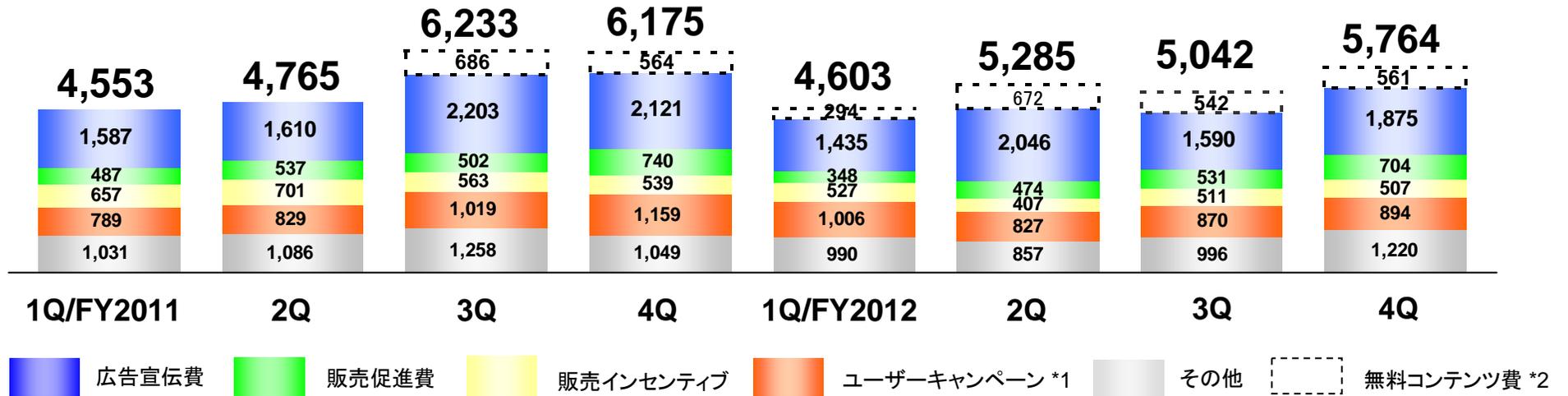


■ 基本料/件
 ■ レンタル会費/件
 ■ フラット視聴料/件
 ■ PPV視聴料/件
 ■ 自主コンテンツ収入/件

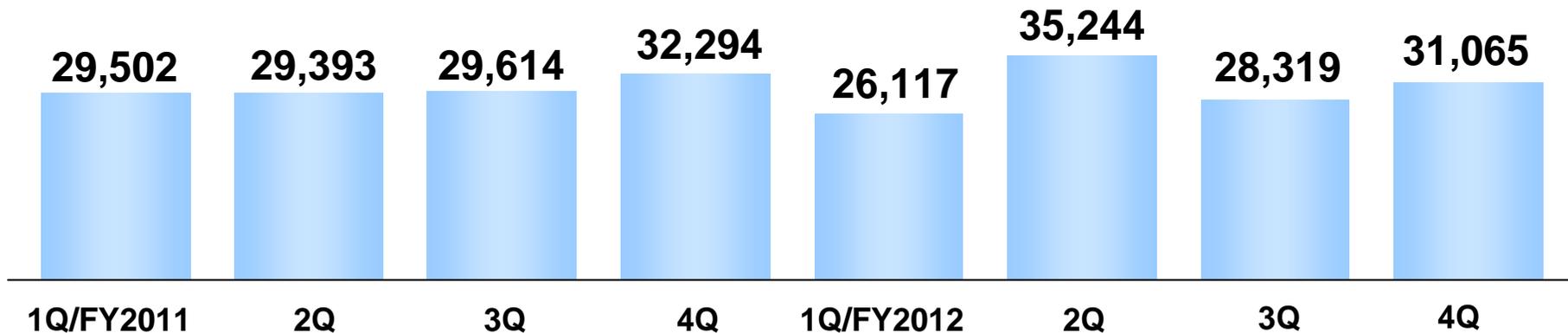
*1 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価。

*2 加入者が支払う月額視聴料等の平均単価の内、当社グループの営業収益計上額。

■ 総額(百万円)



■ 単価(円)*3



*1 「アンテナあげます!つけます!キャンペーン」、「いまなら割」等の各種キャンペーン費用。従来の販売促進費・販売インセンティブから独立して表示。

*2 「無料コンテンツ費」はBSスカパー!の番組制作費等。

*3 単価は、SAC総額(「無料コンテンツ費」は除く)を各期間の新規加入件数で割った数値。

株式分割及び単元株制度採用について

■ 株式分割及び単元株制度採用の目的:

- 2007年全国証券取引所が公表した『売買単位の集約に向けた行動計画』の趣旨に鑑み、当社株式取引の利便性・流動性に資するため。
- 当該変更に伴う投資単位の実質的な変更はありません。

■ 分割の方法: 普通株式1株を100株の割合でもって分割。

- 基準日: 2013年9月30日
- 効力発生日: 2013年10月1日

①株式の分割前の発行済株式総数	3,446,037株
②株式の分割により増加する株式数	341,157,663株
③株式の分割後の発行済株式総数	344,603,700株
④株式の分割後の発行可能株式総数	1,450,000,000株

■ 単元株制度の採用

- 2013年10月1日を効力発生日として単元株式数を100株とする。

(注)上記に伴い、会社法第184条第2項及び第191条の規定に基づき、当社定款の一部を変更する予定。

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部